

仙台製油所 高度化設備の建設着工について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔)の仙台製油所(所長:和田 昭二)において、高付加価値型製油所の実現を目指し、石油化学製品の増産設備と副生ガスを利用した高効率発電設備の建設に向けて諸準備を進めてまいりましたが、このたび建設着工の運びとなり、5月17日(水)に安全祈願祭を実施いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループは、今後、中国を中心に石油化学品需要がますます拡大することが見込まれるアジア市場をにらみ、第3次連結中期経営計画において、CRI(Cheical Refinery Integration: 石油精製と石油化学の一体化)を推進していく事業戦略を策定しております。今回の石油化学製品の増産は、その一環として、特に需要の増加が見込まれるプロピレンとキシレンの増産設備を建設し、仙台製油所の設備高度化をとり進めるものです。これにより、製品の高付加価値化および製油所の効率化を図ってまいります。

また、この高度化設備から発生する副生ガスを燃料とした高効率発電設備を設置することにより、製油所の自家使用電力をまかなうとともに、発電余力を利用した電気小売(PPS)事業についても検討してまいります。



安全祈願祭の様子(新日本石油精製株式会社 社長 小沢 稔)

以上

[別紙1:新設備、仙台製油所の概要](#)(PDF:9KB)

[別紙2:新日本石油精製株式会社の概要](#)(PDF:8KB)